

地域における科学技術理解増進活動について

生涯学習推進部門の事業のひとつとして、地域における科学技術理解増進活動を展開している。授業や卒研の成果物を展示し、実演や体験を通して、小中学生を中心とした一般市民に科学や技術に関する興味関心を高めてもらうことを目的として、さまざまなイベントが実施された。主なものを以下に紹介する。

1. ものづくり成果と科学の体験・展示会【2008.4.26(土)～27(日), ポールスターショッピングセンター】

ショッピングセンターの展示場を借用し、専攻科のPBLで取り組んでいるイカロロボット（イカボー2号）や機械工学科の学生が授業で製作した積み木ロボットなど、子供たちが楽しめる展示物を各学科から出展した。ゴールデンウィークということもあり、多数の親子連れの買い物客らに楽しんでいただいた。



2. サイエンス秋祭りin 函館高専【2008.9.20(土), 函館高専第1・第2体育館】



このイベントは、子供たちを中心とした地域住民に函館高専の体育館を解放し、自作のコンピュータゲームやロボットゲーム、ガラス細工など、日頃、授業や研究で使用している器材や成果物を用いて遊んでもらうためのお祭りである。合計36個の展示ブースが準備され、約400人の来場者が秋の一日を楽しんだ。

3. サイエンス・サポート函館 キックオフ・フォーラム【2008.12.13(土), 函館市立中央図書館】

函館市が提案機関となって JST に申請し採択された地域ネットワーク支援事業により、SSH(サイエンス・サポート函館)が旗揚げした。SSHは、科学際の開催や地域科学イベントの支援を通して、一般市民に対する科学技術理解増進活動を推進するためのネットワークづくりを行うグループであり、その活動を紹介するフォーラムが函館市中央図書館で開催された。函館高専で準備した体験型展示スペース（函館高専エネルギー・ラボ）では、水素吸蔵合金を利用した温度差発電装置など、エネルギーに関連する体験型の展示物が披露された。



4. ものづくり成果の体験・展示会【2009.3.14(土), 函館高専第2体育館】

一年間の授業や卒業研究などで取り組まれたものづくりの成果物を地域住民に公開し、高専のPRと共に、体験を通じて科学技術に興味を持っていただくことを目的として展示会が開催された。専攻科PBLで取り組んだ電車シミュレータや実験装置など計42テーマが展示され、小中学生を含め約300人の市民にご来場いただいた。

